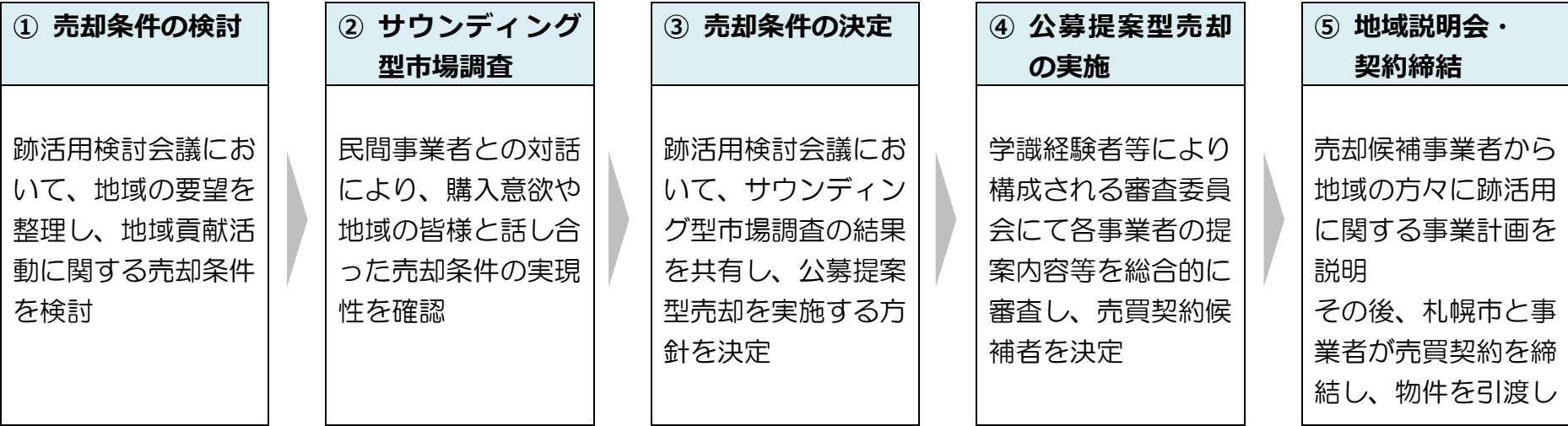


1 「公募提案型売却」の概要

- 公募提案型売却とは
- ・ 所定の地域貢献活動の実施等を条件に事業者の提案を募集
 - ・ 学識経験者等により構成される審査委員会にて事業内容や経営状況、地域貢献活動など、各事業者の提案内容等を総合的に審査し、売買契約候補者を決定
- 主な売却条件等
- ・ 地域貢献活動に関する条件
(例：地域交流スペース、緊急時の避難場所 等)
 - ・ 所有権移転から10年間、提案した事業内容を実施
 - ・ 売買契約締結前に地域説明会を実施



2 最近の学校跡活用事例

閉校した学校	上野幌西小学校（厚別区）	石山南小学校（南区）	石山東小学校（南区）
閉校年月 (施設建築年度)	平成31年（2019年）3月 (校舎・屋内運動場：昭和63（1988）年度)	平成31年（2019年）3月 (校舎・屋内運動場：昭和55（1980）年度)	令和3年（2021年）3月 (校舎・屋内運動場：昭和60（1985）年度)

○主な売却条件等

地域貢献活動に関する条件	・ スポーツ振興の場 ・ 緊急時の避難場所 ・ 地域イベントの会場（お祭り会場など） ・ 共働き世帯の子どもたちを夕方まで預かる場	・ スポーツ振興の場 ・ 緊急時の避難場所 ・ 地域交流スペース	・ 体育館の利用 ・ 緊急時の避難場所 ・ グラウンドの利用
【参考】 地域の声	・ 上野幌西小学校で、地域が今まで行ってきた活動を維持するために体育館をスポーツ振興の場として残してほしい。 ・ 体育館を、スポーツに関する活動だけでなく、イベントなどにも活用させてほしい。 ・ 体育館を地域の避難場所として残してほしい。 ・ 高齢者が健康づくりをするなど、地域住民が集える場所として活用させてほしい。 ・ 共働きの家の子どもたちを夕方まで預かってくれるような機能があるとよい。 等	・ スポーツ振興が活発な地域でありコミュニティ形成の一翼を担っていることから、体育館又はその代替施設は今までと同程度の料金で、特に平日夜間に利用したい。 ・ 災害時の避難場所として住民に広く認知され定着しているため、今後も同様に活用したい。 ・ 施設の一部を、地域住民が集う場として利用したい。 ・ グラウンドを夜間利用する際には、音や照明など、周辺住民へ配慮してほしい。 等	(なし)

○跡活用の状況

施設名称 事業者	カミニシヴィレッジ 学校法人 大藤学園	なの花記念体育館 NPO 法人 北海道バーバリアンズ ラグビーアンドスポーツクラブ	もなみ学園 社会福祉法人 北海道社会福祉事業団
主な事業内容	・ 認定子ども園 ・ バスケットボールチームの練習場 ・ 使用していない時間帯に体育館や校舎を地域に開放	・ バドミントン、タグラグビー等のイベント ・ 使用していない時間帯に体育館や校舎を地域に開放	・ 障がい児入所支援サービス等 ・ 使用していない時間帯に体育館やグラウンドを地域に開放